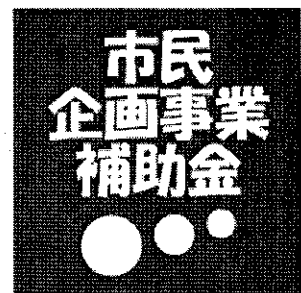


平成24年度
市民企画事業補助金
成果報告書



八王子市

平成25年7月

目次

1	市民企画事業補助金の概要	1
2	事業成果報告等の経過	2
3	審査委員会委員長講評	3
4	交付事業一覧表	4
5	事業成果報告	5
6	成果報告会アンケート結果	50
7	交付団体連絡先一覧	54

1 市民企画事業補助金の概要

(1) 市民企画事業補助金とは

市民企画事業補助金は、市内で活動する非営利団体が、地域の課題の解決や、よりよい市民生活の実現のために、自ら企画立案し実施する事業について、市がその経費の一部を補助するものです。この補助金が有効に活用されるよう、補助対象事業は公募とし、厳正な審査を経て決定します。

(2) 補助の内容

補助対象事業は、以下の2部門に分けて募集し、決定します。応募することができるのはA活動支援部門、B事業実施部門、合わせて1団体1事業です。

	A 活動支援部門	B 事業実施部門
内 容	この部門では、既に公益的な活動に取り組んでいるが活動基盤が整っていない団体やこれから公益的な活動に取り組もうとする団体が、自らの活動を広く紹介する事業に要する経費を補助します。ただし、計画段階の事業費が5万円以上のものとします。	この部門では、市民活動団体が自立運営を目標に企画提案する公益的な事業や将来市と協働で実施する事業として企画提案するために試行する事業の実施経費の一部を補助します。ただし、計画段階での事業費が10万円以上のものとします。
補助金額	必要な経費の10分の10 (千円未満切り捨て、上限10万円)	① 必要な経費の2分の1以内 (千円未満切り捨て、上限100万円) ② 2回目以降は対象事業費の1/3以内又は前回交付決定額の80%のいずれか低い額。ただし、事業の性質上審査委員会で特に認めた場合は、①とします。
補助回数	同一団体2回まで	同一の事業に対して3回まで

(3) 補助事業の採択

補助対象事業の審査は、市民企画事業補助金審査委員会により、応募書類に基づく書類審査及び公開プレゼンテーション(事業実施部門についてのみ)を行うほか、継続事業については、前年度事業の進捗状況の内容も参考にした上で審査します。

また、審査委員会での審査に先立ち、応募事業の内容に関連する市の担当部による、面接等での応募書類の確認や事業内容の評価を行います。審査委員会での審査では、その結果やプレゼンテーションでの市民からのコメントも参考にします。

評価・審査項目は下表のとおりです。

区分	A 活動支援部門	B 事業実施部門
担当部による 確認・評価	1. 公益性 2. 期待度	1. 政策合致性 2. 計画性 3. 八王子らしさ
審査委員審査	1. 公益性 2. 期待度 3. 補助金交付の必要性	1. 計画性 2. 社会貢献度 3. ニーズの高さ 4. 創意工夫 5. 補助金交付の必要性

※ 本概要は24年度の概要であり、今後変更される可能性があります。詳細は市のホームページをご覧ください。市民企画事業補助金のホームページアドレス：

<http://www.city.hachioji.tokyo.jp/33852/shiminkatudo/shiminkikaku/index.html>

2 事業成果報告等の経過

(1) 公開プレゼンテーション

- 日 時 平成24年2月4日(土)
13:30~17:00
- 場 所 北野市民センター 8階ホール
- 参加団体 13団体
- 審査の一環として、事業実施部門に応募した全ての団体が、審査委員と一般市民の方々の前で、プレゼンテーションを行いました。



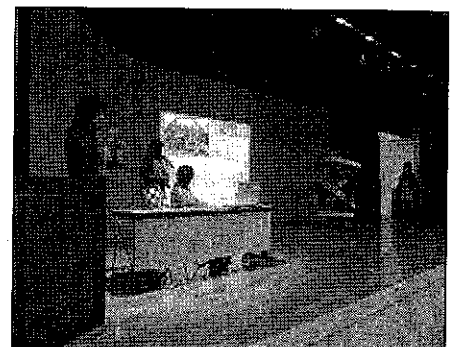
(2) 情報交換会

- 日 時 平成24年11月14日(水)
13:30~16:30
- 場 所 教育センター 大会議室、第1・第2研修室
- 参加団体 13団体
- 団体の抱える問題点の共有や、その解決の糸口を探るため、補助金交付を受けた各団体が一同に会し、情報交換を行いました。



(3) 成果報告会

- 日 時 平成25年6月8日(土)
13:30~17:30
- 場 所 北野市民センター 8階ホール
- 報告団体 20団体
- 平成24年度に補助金を受け、実施された事業について、審査委員と一般市民の方々の前で、成果報告を行いました。



3 審査委員会委員長講評

市民企画事業補助金審査委員会

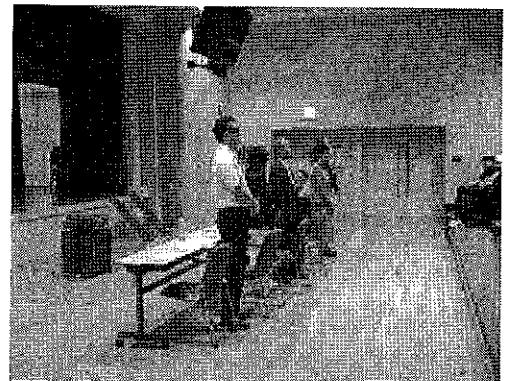
委員長 首都大学東京都市教養学部教授 和田清美

平成 24 年度市民企画事業補助金交付事業の成果報告会が、去る 6 月 8 日(土)午後 1 時 30 分より、北野市民センターにおいて開催されました。本年度は、活動支援部門 8 事業、事業実施部門 12 事業の合計 20 事業が報告されました。いずれも簡潔かつ要領よくまとめられ、予定した時間内にすべての事業の報告を終えることができました。参加団体の皆様のご協力に対し、心よりお礼申し上げます。では、以下、審査委員長としての講評を述べさせていただきます。

第一に、全体として、本年度の活動支援部門ならびに事業実施部門の各活動・事業は、成果があったと評価できます。多くの団体が、活動・事業の依頼数や参加人数の増加、参加された方の声など、具体的な数や意見を示し、その成果を報告されました。特に本年度の特徴として、テレビ、新聞などのメディアに取り上げられたことを成果として挙げた団体が目立ちました。また、本補助金による活動・事業展開により新たな活動・事業の「担い手」の育成や他の団体・機関との連携が達成されたという報告もありました。何の指標をもって活動・事業の成果とするかは大変難しい点ではありますが、メディアからの評価や人材育成、他団体・機関との連携が成果として提起されたことは、特筆に値します。本事業の今後の展開を考える上できわめて意義深いことであって、審査委員一同大変うれしく受け止めました。一方、本補助金の活動・事業計画の年度中での変更がいくつかみられましたが、本来活動・事業は計画に基づいて執行されるべきものであります。それなりの理由があり、致し方ない点もありますが、申請時には実行可能な計画を提出していただくことを指摘しておきます。

第二に、今後の団体の活動・事業の展開について、来年度も本補助金を継続する団体を除くと、いくつかの傾向がみられました。一つは、本補助金による活動・事業展開による実績が認められ、自立した活動やビジネス展開を志向する団体。二つ目は、補助事業の実績が認められ、他の民間の財団や国の機関から支援を受け、より活発な活動を展開する団体。三つ目は、市の他部局の補助事業や協働事業へと展開する団体です。いずれにしても共通して言えることは、本補助金による活動の実績が認められ、その結果自立した活動・事業に繋がっているということです。本補助金が公益的な市民活動・事業の自立を支援することを目的としていることを考えると、その意義は十分達成されています。審査委員会としては、多くの市民活動団体の皆様に、本補助金を受けた団体の事業運営のノウハウをはじめ、自己資金と人材の確保、他団体・機関との連携、活動・事業の広報・情報発信など、活動を発展させる手法を活用していただくことを期待します。その機会の一つとして本成果報告会が設定されていることも併せて申し添えておきます。

以上をもって講評を終えますが、本補助金を受けた団体の皆様には、この成果を今後の活動・事業につなげていただきますことを祈念いたします。



成果報告会における審査委員挨拶の様子

4 交付事業一覧表

(単位 円)

部門	回数	事業名	補助対象事業費	補助金交付額
活動支援部門	新	宇津木の森 再生プロジェクト2012	103,178	100,000
	新	みなみ野シティふるさと展	86,501	86,000
	新	NPプログラムで自分らしい子育てを探そう	102,408	100,000
	新	八王子のゆるキャラを作ろう会	359,851	100,000
	新	子連れ参加OK!「子どもとの絆を深め関係を崩さずに子どもの自立が育める関わり方」～家族みんながHAPPYになれる育児法～ 講演会	123,211	100,000
	新	シニアが元気になるフェスティバル	123,709	100,000
	②	わくわくキッズ料理教室	157,851	100,000
	②	ぶれいみゅーじっくな活動をわかりやすく広報するために	74,137	74,000
	②	DV被害者や女性であるが故に問題を抱える女性の支援	80,264	71,000
②	子育てママのための学び場<一歩踏み出して未来の私につながろう>	148,709	100,000	
小計			1,359,819	931,000
事業実施部門	新	第5回八王子さくら祭り	1,108,371	534,000
	新	親子で楽しむ陶芸教室	125,000	62,000
	新	第104回八王子親と子の良い映画を見る会上映会	418,760	100,000
	新	楽しい介護予防の音楽セミナー	600,108	300,000
	新	里親子と地域支援者との宿泊体験事業	724,844	355,000
	新	マイノート推進事業	217,177	85,000
	②	八王子陵南公園さくら祭り	1,471,115	472,000
	②	被爆体験をDVDに収録し後世に	399,500	199,000
	②	生涯学習の集いイン南大沢	107,136	35,000
	③	いきいきわくわく計算大会	192,617	64,000
	③	大人のゼミ	353,357	112,000
	③	八王子現代家具工芸学校	2,936,311	480,000
	小計			8,654,296
総計			10,014,115	3,729,000

5 事業成果報告

(1) 宇津木の森 再生プロジェクト 2012	6
(2) みなみ野シティふるさと展	8
(3) NP プログラムで自分らしい子育てを探そう.....	10
(4) 八王子のゆるキャラを作ろう会	12
(5) 子連れ参加OK! 「子どもとの絆を深め関係を崩さずに子どもの 自立が育める関わり方」～家族みんながHAPPYになれる 育児法～ 講演会	14
(6) シニアが元気になるフェスティバル.....	16
(7) わくわくキッズ料理教室	18
(8) ぶれいみゅーじっくな活動をわかりやすく広報するために	20
(9) DV被害者や女性であるが故に問題を抱える女性の支援	22
(10) 子育てママのための学び場〈一歩踏み出して未来の私につながろう〉 ..	24
(11) 第5回八王子さくら祭り	26
(12) 親子で楽しむ陶芸教室	28
(13) 第104回八王子親と子の良い映画を見る会上映会	30
(14) 楽しい介護予防の音楽セミナー	32
(15) 里親子と地域支援者との宿泊体験事業	34
(16) マイノート推進事業	36
(17) 八王子陵南公園さくら祭り	38
(18) 被爆体験をDVDに収録し後世に	40
(19) 生涯学習の集いイン南大沢	42
(20) いきいきわくわく計算大会	44
(21) 大人のゼミ	46
(22) 八王子現代家具工芸学校	48

本書では、各団体の事業成果報告及びそれに対する自己評価を紹介していますが、原則として、団体から提出された原稿をそのまま掲載しています。

平成24年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	宇津木の森 再生プロジェクト 2012		
団体名	宇津木台 森遊会		
事業費	103,178 円	補助金額	100,000 円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>広報はちおうじ等を通して公募することにより荒廃した雑木林の現状を伝え、問題意識を持った方々の参加を促します。</p> <p>市民が自ら参加することにより、地元の雑木林に親しみをもち、講座終了後も継続して整備に参加したり、雑木林を日々利用されることを狙いとします。</p> <p>講座修了者がさらに次年度の受講者を支援できるよう、人材を育成します。</p>
	<p>内容</p> <p>公募した市民が参加して、雑木林の整備を実践することによりその方法やノウハウを学びます。また、雑木林を活用してのアトラクションを体験します。これらを通して団体の活動をPRするとともに、市民の継続的な参加へ繋げてゆきます。</p> <p>年度で計5回の活動日を1セットの講座として約20名を募集します。</p> <p>講座の様子ならびに修了時の成果は市民に広く知っていただくために、随時、会のホームページで公開してゆきます。</p>

事業の活動実績	<p>事業年間計画の通り、計5回の講座を実施しました。但し、第3回10月予定は雨天のため11月実施となりました。</p> <p>第1回目、6月24日(日)参加者18名：笹刈りと森林散策を行いました。植物をはじめ、前日に仕掛けた昆虫トラップの回収や内視鏡を使っての巣箱内の観察を行いました。</p> <p>第2回目、7月22日(日)参加者16名：生垣の剪定、前回笹を刈ったエリアの遊歩道設置、お昼に流し素麺とかき氷、シュロの葉で編むシュロバツタ作りを行いました。予め伐っておいた竹を使って流し素麺の桶や器、箸を自作しました。</p> <p>第3回目、11月25日(日)参加者15名：コンサートエリアの整備(土の撤去、周辺の除伐、階段の設置、枝の片付けなど)を行いました。晩秋の昼食(サンマ、おでん、焼きおにぎり)、スギの葉でリースづくりを習得しました。</p> <p>第4回目、12月23日(日)参加者15名：来年3月のコンサートに向け、階段の設置、ベンチ作りを行い、会場が完成しました。竹林の枯草除去、竹の間伐を行い筍を迎える準備が出来ました。近隣の農家からお礼に泥ねぎをいただき、たき火で焼いていただきました。参加者が持ち寄った具材で大量のトン汁ができましたが完食しました。ミニ門松は個性豊かなものが続々と完成し、お正月の準備が整いました。</p> <p>第5回目、2月24日(日)参加者14名：今年一番の寒波と北風の中、野鳥観察会を行いました。緑地では残念ながら野鳥は出てきませんでしたが、多摩川では沢山の水鳥が観られました。春に向けて過去に設置した巣箱内の掃除も行いました。</p>
---------	--



事業の成果・効果	<p>1. 参加者の公募について</p> <p>広報はちおうじへの掲載は以下の2つの理由により見送りました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助金事業とのタイミングが合わず、掲載が最短で6月15日となり、講座開始の直前となってしまふこと ・掲載内容には電話番号が必須でメールアドレスは不可となっており、受け付ける側として電話は現実的ではないこと <p>このため参加申し込みは低調でしたが、森遊会のホームページや様々な会員サイト、スタッフによる口コミなどにより、近隣の住民など14名が講座に参加登録しました。</p> <p>2. 講座の実施について</p> <p>計5回の講座で整備(笹刈り、剪定、遊歩道設置、除伐、竹林)のみならずアトラクション(自然観察、シュロバッタ工芸、リースづくり、ミニ門松、野鳥観察など)を体験しました。</p> <p>尚、講座の予告と報告はすみやかに森遊会ホームページにて行いました。</p> <p>3. 事業の効果について</p> <p>講座に参加登録された14名のうち13名(遠方への転居1名を除く)が森遊会会員として登録し、次年度以降も活動に参加することとなりました。これにより森遊会会員は総勢44名となり、多彩な顔ぶれとなりました。新たな会員には3組の親子(小学生4名)が含まれます。</p> <p>活動の面では、整備方法やノウハウを学びましたので、安全で体力と力量に見合った活動が継続的にできます。アトラクションを体験したことにより、整備だけでなく、様々な楽しみ方を実感し、応用することで、継続してゆくモチベーションにつながっています。何よりも、事業を通じて近隣の住民が興味を持ってくれたことに対して、今後の展開に期待が持てるようになりました。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p><input checked="" type="radio"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p><input checked="" type="radio"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p><input checked="" type="radio"/> 1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>講座参加者は定例活動(5回の講座以外)にも参加しており、この活動への理解が見られました。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

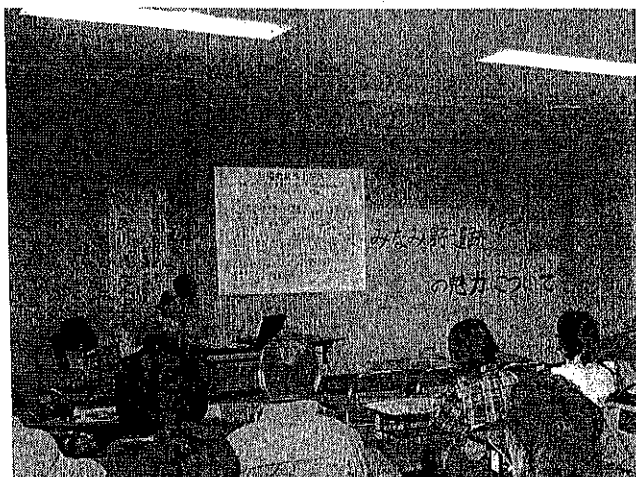
今後の事業展開	<p>参加者の公募は森遊会のホームページや様々な会員サイト、スタッフによる口コミによるところが大きく、また、必要な道具は基本的なものが揃ったことから、次年度は補助金の申請は行わず、現状の体制で継続することとします。</p> <p>次年度は定例活動(5回の講座以外)で実施した、竹の器を使った料理、炭焼き、応急処置講座、ピオトープ作り、森のコンサートなどを講座に取り入れてゆきます。</p>
---------	--

平成 24年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	みなみ野シティふるさと展		
団体名	八王子市由井市民センターみなみ野分館「ふるさと資料室」運営委員会		
事業費	86,501円	補助金額	86,000円

事業の目的・内容	目的 八王子みなみ野シティに住んでいる方々や八王子市民に、昔の文化や歴史、開発の経緯、開発で残された自然について展示や講演会を通じて情報発信を行う事により、自分達の町の文化や歴史を知って頂き、新たなふるさととして街に愛着を持ってもらうと共に、みなみ野分館にある「ふるさと資料室」の存在と活動をアピールすることで広く八王子市民に認知され、ふるさと資料室の運営への参加、昔の資料・農機具等の提供等、ふるさと資料室の活動を充実させる。
	内容 みなみ野シティに関する歴史、文化、自然の展示と講演会を実施する。

事業の活動実績	1、展示 4月～6月「みなみ野シティの夕日展」 (昭和20年代からの宇津貫・片倉の生活用品の展示) 7月～9月「雑木林の生き物達」 (開発で残された宇津貫緑地の自然と昆虫標本、写真の展示) 10月～1月「昔の農機具展」 (先人の知恵から学ぶ) 1月～3月「みなみ野の遺跡を考えるパネル展パート2」 (縄文土器、撚糸紋土器、窯跡等の展示)
	2、講演会・体験講座の実施 ・昆虫観察会2名、みなみ野遺跡の魅力30名、みなみ野遺跡を巡る23名 3、「めかご」教室を月1回実施、七国中総合教育「めかご」講習会への協力 4、地元盆踊り(みなみ野3丁目、熊野神社)へヨーヨー釣りで参加し広報活動 5、八王子市広報「ひろば」・ホームページへの掲載、各市民センターへのチラシ掲示 マスコミへのポスティング 6、アクロスモール、JR八王子みなみ野駅掲示板に掲示、小中学校、町会へチラシ配布



事業の成果・効果	<p>1、 Donguriを使用し来場者のカウント、アンケートを実施 来場者数 2,000名 アンケート数 52通 アンケートの意見 ・懐かしかった ・勉強になった等の意見があった。</p> <p>2、 読売新聞地域版「よみっこ」に掲載頂く、</p> <p>3、 マスコミ取材 八王子テレメディア2回、読売新聞1回</p> <p>4、 地元の盆踊りに出店することで地域の方々との人脈が出来た</p> <p>5、 テレビやDVDを使用し展示内容の充実がはかれた</p> <p>6、 ふるさと資料室倉庫の整理と資料の調査、分類を行い、展示に反映できた</p> <p>7、 関係機関より土器、石器、展示ケースの借用ができた。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた ② 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった ③ 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p> <p>講演会に参加しやすいように無料にしたため、事業収入は少なくなった。展示ケースを借用できたことや、講師のご協力により、展示ケース製作費及び謝礼金が大幅に減額となった。</p>
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

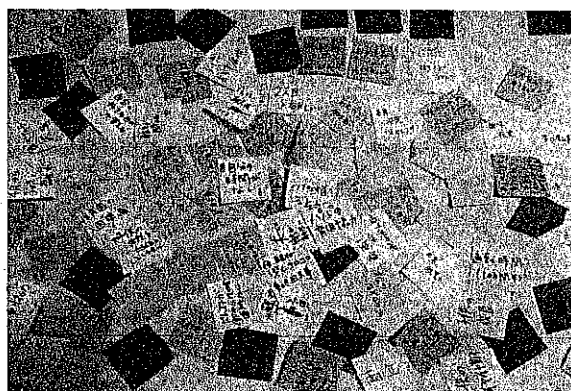
今後の事業展開	<p>一年間の活動内容の反省とアンケートの要望を今後の課題とし、運営委員会で協議し、積極的に財源を集め、展示期間・内容や講演会等の充実をはかり、親しまれる「ふるさと資料室」としての活動を継続して行きたい。</p>
---------	--

平成24年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	NPプログラムで自分らしい子育てを探そう		
団体名	若葉		
事業費	102,408円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<ul style="list-style-type: none"> ・親支援講座として海外でも実施されているNPプログラムを、八王子市内の乳幼児を育てている多くの方に体験していただき、仲間作りの推進と孤立しがちな子育ての「育児不安解消」および親たちが安心して話ができる場作りをしながら、ストレス軽減及び価値観や視野を広げることにより、子育て力を育てる。 ・子育てや日常生活・環境に対し不安を抱える親へは、専門家との連携で早期親子支援を行っていく。 ・この事業を通じて当会のPRをはかりたい。
	<p>カナダ保健省で開発され、海外でも実績のある「NPプログラム」(完璧な親なんていない)の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0歳～5歳までの乳幼児を育てている親を対象とした講座 ・講座を通して親の交流と仲間作りをする ・自分と子どもを大切にするための、貴重な時間と機会の中で考える学びをする

事業の活動実績	<p>NPプログラムとは、参加者がそれぞれに抱えている悩みや関心について、グループみんなで出し合って、自分の持っているスキルや情報を活用し話し合いながら、自分にあった子育ての仕方を学んでいくものです。その中で、自分の行動、まわりとの関係、物の見方・考え方、子どもとの関係、夫との関係に変化が生まれ、悩みの解決方法を見つけていくプログラムです。その結果、子育てを楽しみと感じながら、子どもも自分も大切に成長していきます。</p> <p>日程：10月24日～12月5日までの6回講座①～⑥とフォローアップ2回を行った。</p> <p>1回目：10月24日 「知り合おう」をテーマに、単なる自己紹介に留まらないコミュニケーション・ゲームやアイスブレイクの実施で、参加者の親近感を高めていった。その上で、自分の抱えている課題「子育ての悩みや生活環境まで」を出し合い、分類し「自分たちのテーマ決め」を行った。最後に一人一言。(参加者8名) 2回目：10月31日 第1回目で参加者が出し合って決めたテーマに沿って話し合った。「子どもの安全」についての具体的な課題を一つ一つ出し、今何に困っているのかを話し合った。また、自分では何を参考にできるか、どんなことが試せるかを考えた。(参加者9名) 3回目11月7日 1回目で参加者が決めたテーマに沿って話し合った。「子どもの生活」についての具体的な課題を出し合い、前回同様に話し合っ、考えた。(参加者12名) 4回目：11月21日 同様に「家族・夫の協力」について話し合った。(参加者12名) 5回目：11月28日 同様に「親自身」について話し合った。(参加者11名) 6回目：12月5日 同様に「友達・ご近所・親戚との付き合い」について話し合った。(参加者10名) (フォローアップ1) 1月23日 「幼稚園・保育園の情報交換」について話し合った。(参加者8名) (フォローアップ2) 3月8日 今後の活動と展開について話し合った。(参加者9名)</p> <p>6回の講座でNPプログラムの技法を習得していき、2回のフォローアップでは、より具体的な内容で、お互いの助け合いとなる意見交換・情報交換が行われ、今回集まった親同士での学び合いを継続していくことになった。</p>
---------	---



事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・誰もが感じる孤独な子育ての中で、「これでいいのだろうか・・・」と言う漠然とした不安を持っていたが、共通の悩みを持った保護者との出会いで、その負担感を工夫しながら軽減することができるようになった。(孤立防止・負担感緩和) ・講座を通して出会った仲間と共に、参加者主導で話し合った内容を展開できるようになり、生活に取り入れながら、子どもとの関わりに変化を感じることができたことで、親としての自信を持つことができた。(子育て力の向上と親の変化・成長) ・この講座が開催できたことで、当会の活動を市民に広く周知することができた。 ・講座を受けた親が、その良さを友人・知人に伝えてくれている。 ・今後も今回の参加者で学習会を継続していくことが決まった。 ・子どもの月齢、住所や普段の生活とは別の場所で、今の子育てについての悩みや不安(これでいいのかという不安)の確認ができたことは、新しい工夫をする前向きな気持ちと、親の自信につながった。 ・多様な価値観と出会い、視野を広げることで、問題行動の予防にもつながった。 (参加者のアンケートより) ・回を重ねるごとに前向きになれる自分がいてうれしかった。 ・いつもの友達とは違う話ができるこの場所があることがいい。 ・毎回色々なテーマで「色々なママたちの意見が聞けて、子育ての参考にもなり、自分も話せる場があり、気持ちも楽しく前向きになった。子育てに対するストレスがグッと軽減された。 ・子どもももっとたくさん関わって向き合って行こう！たくさんほめてあげようと思った。 ・悩んでいるのは自分だけでないのがわかった。講座を受けてみんなが子育てで大変な思いをして悩んだり、不安に思ったりしていることを知り、自分だけでないことがわかり少し冷静になれ、子どもに対してイライラしなくなった。 ・皆とゆっくり話ができ、自分と向き合え、自分に自信がついた。子育てを楽しもうと思った。参加してよかった。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="radio"/> ① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="radio"/> ① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ <input checked="" type="radio"/> ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) テキストについては、当会所有の物を貸与したため
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・この講座をきっかけにして、当会の活動を広くPRしていきたい。 ・今回の参加者全員が当会への参加を希望していることを受け、今まで以上に会員のニーズに合った 講座企画や学習会を展開していきたい。 ・公益的な活動をするためにも、より多くの人たちへの周知方法を工夫していきたい。 ・他の子育てグループとの連携を強めながら、情報交換をしていきたい。
---------	---

平成24年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	八王子のゆるキャラを作ろう会		
団体名	八王子のゆるキャラを作ろう会		
事業費	359,851円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的
	内容

八王子市の代表となるようなゆるキャラを作り、子供たちを中心に公益性ある活動を通じて郷土愛をはぐくみ、ゆるキャラさみっと協会に加盟・イベント参加によって地域交流しながら全国的に八王子市を広報し、地域を盛り上げることを目的とする。

作ったゆるキャラの着ぐるみ、ぬいぐるみで八王子の名所や行事、お店などをまわりながらHPなどで八王子の魅力を紹介し、児童施設(幼稚園・保育園・託児所など)、福祉施設(老人ホームなど)、震災被災地へ訪れて人々と交流しながら、一緒に地域テーマソング(ぼくらの八王子)を踊ったりしながら普及活動し、郷土愛をはぐくめるような活動をしたいと思っております。

事業の活動実績	4月1日 道の駅八王子、開設5周年記念イベント	10月7日 チャリティーカラオケ大会
	4月8日 滝山城址さくら祭り 道の駅八王子滝山ゲンキダーJ公演ゲスト	10月6~7日 八王子古本まつり
4月20日 八王子ファッション協議会懇親会	10月13日 介助犬募金活動のお手伝い	10月14日 ゆうやけこやけふれあいの里 かかしまつり
4月21~22日 花と緑のまちづくりフェア	10月19日 (株)JVCケンウッド ピアパーティー	10月20日 多摩モノレールイベント 八王子駅前の情報コーナーオープンイベント
5月3日 小田原北條五代祭り	10月21日 八王子メッセ「街道市」・東京ヴェルディ試合応援	10月25日 JR八王子駅 記念切符販売のPR
5月3~4日 第六回八王子古本まつり	10月27日 高円寺フェス2012 ゆるキャラまつり	10月28日 八王子駅前ハロウィンイベント
5月5日 夕焼け小焼けの里 ふれあい館で単独イベント	11月3日 八王子市子供会イベント	11月11日 ふれあい里まつり
5月5日 浄福寺ヨガ祭り	11月17~18日 第33回八王子いちよう祭り	11月24~25日 相模原フェスタ
5月13日 ななくに歯科お祭り	12月1日 南大沢キャンドルナイト	12月2日 八王子市聴覚障害者協会創立40周年記念大会
5月20日 アートムーチョ	12月8日 宮城県復興クリスマスイベント	12月15日 朝日ヶ丘子供会
5月21日 こども科学館皆既日食イベント	2013年	1月19日 19の会ゲスト
5月27日 ナウプレイランドサヨナライベント	1月20日 ゆうやけこやけふれあいの里どんと焼き	1月31日 すみれ幼稚園イベント
6月6日 レインボーズ結成記念イベント	1月31日 大船観音寺 節分会	2月1日 子ども餅つき大会
6月16日 八王子フットサルチーム応援	2月17日 東京マラソン EXPO	2月23日 市子連の子どもイベント
7月1日 8-1グランプリ	3月3日 やななの卒業式 in 関東	3月9日 高尾梅郷・梅まつり
7月7日、8日 夏の風物市	3月10日 第6回 小田野中央公園さくらまつり	3月10日 清水小・謝恩会
7月9日 老人ホームの催し	3月22日 高尾梅郷夜桜撮影会	3月23日 八王子市長、表敬訪問
7月21日 滝山二丁目納涼芸能大会		
7月24日 BNIシルクロード1チャプター発足イベント		
7月26日 老人ホームの納涼会祭り		
8月3日 Tシャツデザイン画 100選発表会		
8月4日、5日 八王子祭り		
8月7日 ホットペッパー撮影		
8月18日 鎌倉市福島復興チャリティーイベント		
8月26日 ファミリー体操会		
9月9日 ファニー・フェローズ ジャズ・オーケストラコンサート		
9月15日 越中八尾おわら風の舞 in 八王子		
9月16日 老人ホーム小松原園 ふれあいイベント・T1グランプリ応援		
9月17日 磯沼ミルクファームで乳搾り SCENEでたき坊と楽しむチーズと フレンチビュッフェ		
9月27日 横浜 BNI 交流会		
9月28日 ゆりーと激励会		



事業の成果・効果	<p>八王子市役所観光課の方々と協働して、八王子の観光PRに努めました。そこから更に多くのイベント、市民活動、企業や店舗が主催するお祭り、学校や児童施設、福祉施設、東日本大震災の復興支援まで数多くの出演依頼が舞い込むようになりました。</p> <p>イベントなどを通じて多くの方々に喜んでいただき、ファンが増えていきました。全国のご当地キャラクター達はその人気を争う、ゆるキャラグランプリ2012に初出馬をしました。県や市町村、商工会に商店の代表キャラなど865体がエントリーする中で、58位という順位をいただきました。都内では3位となります。</p> <p>その後、八王子を代表するキャラクターと認知されるようになり、市外への出演依頼も増えるようになり、活動は途切れることなく増える方向にあります。</p> <p>また、関東のご当地キャラクター達と親睦団体『関東キャラ連盟』を立ち上げ、平成25年4月現在で35体のキャラクター達と、地域振興・交流深めております。</p> <p>キャラクターの情報発信として、主にソーシャルネットワークやホームページなどのネットを使用しております。キャラクターのツイッターフォロワー数は1900以上、Facebookページに570以上の登録(平成25年4月現在)をいただき、情報発信としての影響力も出てきました。さらに、ぬいぐるみやお菓子、キーホルダーなどのグッズ販売もされるようになり、市役所の売店ほか八王子のお店でしか買えないということで経済効果も出始めております。</p> <p>さらに、イベント出演時には八王子のテーマソング「ぼくらの八王子」を踊ることでその普及に努め、イベント時などに共演するゆりーと君と共に東京国体のPRとオリンピック招致に向けて気運を高めることに努めました。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ)</p> <p>予想以上の人気と出演依頼をいただき、毎週のように出かけながら活動させていただきました。しかしその分、時間や経費もかさみ、公益活動を個人的に支えていく課題も露呈しました。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>多数の新聞・ラジオ・テレビ、雑誌や行政の広報誌などに取材・掲載していただきました。また八王子にキャラクター需要を発掘し、行政・商業分野で多くのキャラクターが八王子に誕生し、イベント活動しています。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

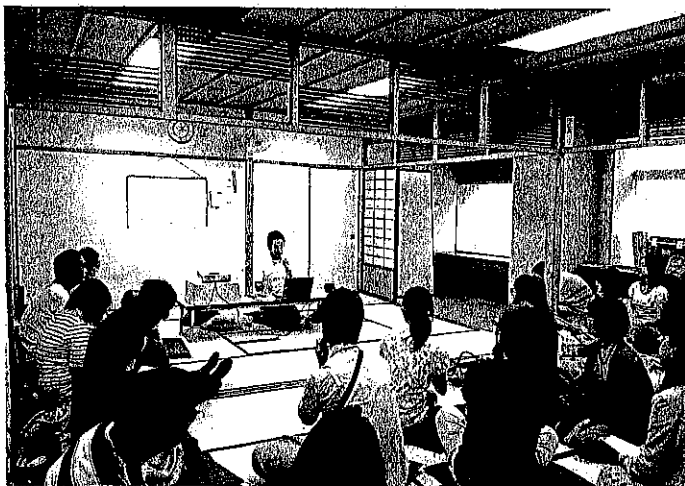
今後の事業展開	<p>市内のイベント・市民活動の応援に貢献し続けながら、活動の認知度を広げ、活動の可能性を模索すると共にファン拡大を目指します。また、市外で行われているご当地キャラクターの集合イベントへも積極的に繰り出し、全国のご当地キャラクター達と親交を深め、初の八王子でご当地キャラクター集合イベントを招致できるよう努めます。</p> <p>組織としては、安定的運営できるように会員増員と育成を目指し、個々の負担軽減に向けてスタッフと協賛資金の強化に努めます。</p>
---------	--

平成24年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	子連れ参加OK! 「子どもとの絆を深め関係を崩さず」に子どもの自立が育める関わり方 ～ 家族みんながHAPPYになれる育想法 ～ 講演会		
団体名	ママカフェサークル		
事業費	123,211円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	目的
	<ul style="list-style-type: none"> ① 仕事・家事に多忙で育児に悩み疲れている親の悩み減少・解決となる学習の場の提供 ② 子どもの絆を深め、子どもの自立を育む。家族みんなが幸せになれる楽しくなる育想法の提案 ③ 参加者同士の悩みの共有・意見交換できる友達作りの場の提供 ④ 子育て支援事業を通じて立ち上げ間もなく知名度低い当団体の市民の認知度を高め賛同参加増加を目的
事業の目的・内容	内容
	<p><対象> 子育て中のパパママ (主に幼児期)</p> <p>「子どもとの絆を深め関係を崩さず」に子どもの自立が育める関わり方」を大きなテーマとして 第1回～第3回の初めて聞く人にもわかりやすいプログラムの講演会を 選抜理論心理士の講師を招いて行う</p>

事業の活動実績	第1回 7月22日(日)	申込み大人28名 子供21名	参加者大人26名 (うち夫婦7組) 子供17名
	第2回 9月22日(土)	申込み大人32名 子供28名	参加者大人29名 (うち夫婦9組) 子供20名
	第3回 11月3日(土)	申込み大人36名 子供28名	参加者大人26名 (うち夫婦7組) 子供14名
	① 休日午後開催 (仕事柄の方や夫婦参加しやすい日時設定)		
	② 3講演各回単独参加可能なプログラムで子育て中のパパママ共通の悩みについてテーマを絞り実施		
③ 係着ボランティアを採用し子連れ参加が安心して出来るよう配慮			
④ 参加者のお子様については社会福祉協議会の行事保険を注用			
⑤ 講演会終了後、講師を囲んで参加者同士の横のつながりも意識して懇親会を開催			
	<広報>		
	・市民活動推進部協働推進課の支援で協力をいただき子登 ^加 事務所パネル展示や公的施設・赤い心ふたごなどの私的施設内にチラシ・ポスター設置出来 対象市民の方々に安心ある事業として広くアピール出来た		
	・mixi「ハエ子ママ!!」コミュニティ内・ママカフェHP内・講師ブログ内・市民活動支援センターHP内にて宣伝		



事業の成果・効果	<p>< 参加者の声(一部) ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもとの関わり方で悩んでいた。子育てを楽しむヒントがたくさんあり、参加してよかった。 ・子どもとの関係づくりのヒントと共に、夫婦関係改善のヒントにも役立ちました。 ・育児ノイローゼに「かかりかけていました」が、救われた思いです。 ・職場での応用も出来そうな方法論で、日常生活すべてに役立ちそうです。 ・離婚を考えているが夫婦で参加して子育て論に触れながら夫婦間での関わり方での反省がありもう一歩家族としてやっていくことになり感謝しています。 ・講演中意見利用出来、保険加入(おともあり)、安心して講演会に参加出来た。 ・選択理論心理学に興味をもち学んでみたい。 ・講演後の懇親会で講師や他の参加者と気軽に話せて有意義だった。 ・他のテーマも聞いてみたいです。 <p>アンケートやメール・直接的な声から、子どもとの関わり方に悩んで参加した方が大多数を占め、参加して解決の糸口・ヒントを掴み、より前向きな育児に取り組めるという声が多かった。子どもの反応がエスカレート化・育児ノイローゼ寸前・離婚の危機などの深刻化した問題を抱えた参加者も育児の方向性を見つけ、夫婦関係も見直せるから問題解決に目を向ける姿が見受けられた。</p> <p>懇親会では参加者同士が「悩み」の共有や交流を深め助け合える関係づくりの場にもなったと考察する。</p> <p>補助金をいれたことで遅れで参加しやすい環境設定が出来、より多くの参加者を得られた。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<ul style="list-style-type: none"> ・講演会開始13:30～懇親会終了17:00まで休みなく、懇親会ではお茶の時間をよく参加者の悩み相談を受けてくださった講師の協力もあり、より多くの参加者へのケアが出来た。 ・事業終了後から通常開催までまた参加も徐々に増えている。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> ・数の方々が育児の悩み・不安を抱えていて、このように育児法の提案や学習の場を通じて孤立化しないためにも「横のつながり」を強化する必要性を強く感じた。 ・選択理論をベースにした取り組みは、いじめ・虐待防止活動や問題行動ある生徒たちを積極的に受け入れている神奈川県立高校の授業(を)取り入れ関わる活動などに活用されたい成果をあげており、今後、育児を始め、いじめや虐待防止・問題行動のある子供達の救済活動など幅広くつなげる関連団体との活動を視野に入れていきたい。
---------	---

平成24年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	シニアが元気になるフェスティバル		
団体名	八王子高齢者活動コーディネーター会		
事業費	123,709円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>シニアの活性化を目的として設立した当会は、これまでの「アイデア発明研究会」「論語を楽しく学ぶ会」「シニアを元気にする会」の設立等、シニアをなんとか活性化しようと思っている。このようなシニアを活性化する活動が、シニア層はもちろん、広い世代に活動を知ってもらい、会の知名度向上と会員増、そして事業の拡大を計ることを目的として、この事業を開催した。</p>
	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基調講演 ・トークセッション (パネルディスカッション) ・活発な団体の紹介 ・アトラクション (展示と演技・演奏)

事業の活動実績	<p>3月に「採択」通知をいただいてから、「シニアが元気になるフェスティバル」の準備に取り掛かり、4月に弊会の総会での決議により、実行委員会を立ち上げ、本格活動に入る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下、実行委員会は、当初は月1度、10月以降は、増やして、12月本番に備えた。 ・実施時期の決定。 ・基調講演の講師の検討と決定。 ・パネルディスカッション (トークセッション) の内容をつめる。 ・会場の予約と募集のポスター作り ・周知のために、多くの団体に協力してもらい、説明会をさせてもらった。 ・八王子テレメディアの放映 ・集客のため、「商店会と連携」「午前中はスタンプラリー」を企画。 ・活動団体紹介に「論語を楽しく学ぶ会」「お父さんお帰りなさいパーティー実行委員会」「八王子センター元気」の3団体を決定。 ・市役所の出張所に、PR用のブースを設けてもらった。 ・10月13日に「シニアが元気になるフェスティバル紹介」講座実施さらに、集客。 ・12月1日は、八王子市村松副市長様はじめ、約100人参加。盛大になった。
---------	--



事業の成果・効果	<p>目的としては、会の知名度向上と会員の増加であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知名度向上は、募集の対象範囲と反応などで評価できると思う。 参加者が100名と、予想を越えた参加者であった。 八王子テレメディアが、事前のフェスティバル案内放映と当日のイベント紹介をしてくれ、格を高めてくれた。 朝日新聞の11月20日号、「多摩マリオン」欄に「イベント案内」として、掲載された。 (初めての経験) ポスターが、市内の駅周辺の200店舗の商店に掲示された。(スタンプラリー)の成果。 八王子市副市長・市民活動協議会理事長・市民活動支援センターセンター長・市健康福祉部高齢者障害者担当部長・高齢者支援課課長・協働推進課課長・八王子センター元気代表・お父さんお帰りなさいパーティー実行委員長と「シニアの活性化」を進めている組織団体の代表者が出席を表明していただき、募集に影響があった。 基調講演が「三遊亭大王(渡邊一雄氏)」と楽しそうな・ためになりそうな最適な講演者を得た。 ・今回は、 参加者が100名と多かったので、大変盛り上がった。 講演者が、話が笑いと、ためになる話をしたので、参加者は大変感激していただけた。 アンケート結果を見ても、評判が絶大である。(知名度向上) 「シニア元気塾基礎講座」の卒業生が、数人来ていた。 この人々は、実践講座終了後弊会への入会をしてもらえと思う。
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった</p> <p>主な理由(3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 ほとんど同じ 2 <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった 3 大幅に変更している</p> <p>主な理由(2、3と答えた場合のみ) 会場が、大きな場所を必要としたため。</p>
	その他、評価すべき点等	<p>このイベント自身、初体験で、会員全員参加で実施することになるので、いろいろな心配事があった。 だから、必死になって活動した。 準備も当日の運営も、見事にでき、会員の満足感が一番よかった。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>「シニアが元気になるフェスティバル」は、 自身のためにも、市民のためにも、重要なことであると認識できた。 また、大変であるが、会の力でできることも証明できた。 このイベントを柱として、会の発展、シニアの活性化、 さらに、市の高齢者への保健や医療費の削減に協力できればと思う。</p>
---------	--

平成 24 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	わくわくキッズ料理教室		
団体名	八王子地域活動栄養士会		
事業費	157,851円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的 生涯にわたって健康的な人生、食生活をおくるには、子どものときからの食生活で大きく左右されると思う。子どもが自分自身で、自分に必要な食事を選べ楽しく作れるようにサポートしていきたい。対象者を「子ども」にしぼり、子ども自身が「食」に関心をもてるように私たちが持っている知識を次世代に伝えていきたい。それと共に、この企画をとおして昨年に引き続き会のPRをしたい。</p>
	<p>内容 子どもの料理教室 子どもの時から食べ物の大切さを知り、自分自身の食事バランスを理解し、調理できるようにをコンセプトにした楽しい料理教室。</p>

事業の活動実績	<p>7月21日(土) 22日(日) 子安市民センター 参加者 21日 12名 22日 9名 「3色食品群をふまえたバランスのよい食事」 ランチョンマットに書かれた主菜・副菜などの場所を選んできた料理を並べ、講話の復習と1食分のバランスを目で見確認めた。</p>
	<p>5月12日(土) 横山南市民センター 参加者 13名 端午の節句 たけのご飯 春野菜の炒め煮 春の酢の物 かしわ餅 9月23日(日) 南大沢生涯学習センター 参加者 17名 十五夜 秋の五目混ぜご飯 さつまいもとゴールデンキウイの甘酢あえ つきみ卵のすまし汁 お月見団子 12月8日(土) 台町市民センター 参加者 18名 お正月 菜めし すまし汁 いりどり だて巻 フルーツきんとん 紅白なます 田作りアーモンド入り 2月23日(土) 川口市民センター 参加者 7名 桃の節句 ひな散らしずし ほうれん草の白あえ すまし汁 さくら餅 日本の伝統行事と季節の野菜を取り入れた献立内容とした。子どもだけですべての料理を調理できなかった場合、おせち料理は皿にそれぞれが盛りつけたり、さくら餅の皮を焼くなど何らかの形で少しでも調理にかかわるように心がけた。 講話は昨年に引き続き、3色食品群をもちいて食事バランスの話を毎回おこなった。</p>



事業の成果・効果	<p>昨年度は料理の基本を子どもに好評なカレーで学べるように企画した。今年度は行事食(端午の節句、十五夜、お正月、桃の節句)と7月に行った「3色食品群をふまえたバランスのよい食事」の二本立てで前年度より一歩進んだ企画内容にした。</p> <p>昨年度からのリピータの子どもも多く、またスタッフが子どもの対応に慣れたことで調理実習などの流れはスムーズになり、基本的な調理器具の使い方や注意点も身につけてきた。</p> <p>7月におこなった教室では、主菜・副菜それぞれ3品の中からバランスを考えて自分で料理を選んでもらった。班全員が同じ料理を選んだとしても個々に理由があったので、毎回おこなってきた講話の内容も理解してもらえたのだと実感した。</p> <p>行事食に関しては、かしわ餅やさくら餅などをつくり迎えに来た保護者の方にも食べていただいた。また、料理の完成品だけでなく行事飾りをしたことで保護者の目をひき、料理の作り方など多くの質問を受けた。今年度は見学で残る保護者の方がほとんどいなかったので、このことがきっかけとなって家庭での会話がはずんだことを期待する。</p> <p>この制度を2年間受けたことにより、当初の目的はかなり達成された。料理教室という性質上、会費だけで講師料などすべてをまかなうというのはなかなか厳しい面もある。が、この2年間の成果と経験をいかし来年度以降も料理教室を続けていこうと考えている。</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<p>1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 <input type="radio"/> 概ねできた 3 <input type="radio"/> あまりできなかった 4 <input type="radio"/> ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<p>1 <input type="radio"/> できた 2 <input checked="" type="radio"/> 概ねできた 3 <input type="radio"/> あまりできなかった 4 <input type="radio"/> ほとんどできなかった</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (3、4と答えた場合のみ)</p>
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<p>1 <input checked="" type="radio"/> ほとんど同じ 2 <input type="radio"/> 多少の変更があった 3 <input type="radio"/> 大幅に変更している</p> <p>-----</p> <p>主な理由 (2、3と答えた場合のみ)</p>
	その他、評価すべき点等	<p>広報誌だけでなく、市民センターのポスターやショッパーを見て申し込まれた方がいた。参加者が少ないときに友人を誘ってくださった方もいる。「わくわくキッズ」が目につき、当会の名前も知られるようになったのだと思う。</p>

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>当会の自主事業として小学生にとらわれず巾を広げ展開していきたいと考えている。</p> <p>1月に「わくわくキッズ料理教室」参加者の保護者対象に「母親教室」を開催した。若い母親が抱えている日々の食事に関するフォローがあってもよいと感じた。中学生以上を視野にいれニーズに合わせた対応が出来る料理教室を企画したいと思う。</p> <p>事業として成り立たせるためには定員数が集まるのが必須です。同じ教室を2つに分けて別内容で料理教室をおこなうなど企画を充実させ、対象者枠を広げ参加者を増やすと共に小学校低学年からの料理教室は継続したいと考えている。</p>
---------	---

平成 24 年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

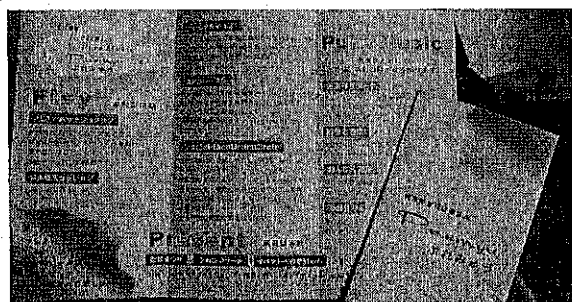
事業名	ぶれいみゅーじっくな活動をわかりやすく広報するために		
団体名	特定非営利活動法人 Pulemyu ぶれみゅう		
事業費	74,137円	補助金額	74,000円

事業の目的・内容	目的
	内容

当法人の音楽療法的アプローチでの play 活動・参加する、present 届ける・受け取る⇒鑑賞する、などの効果を説明することは、参加したことのない方にとって想像しがたいと思われる。そこで、より伝わりやすい形の広報資材を作成し広報することによって、当法人の活動の理解へとつなげる。

今年度は、23年度の本補助金を得て作成した DVD とリーフレットを活用し、広報先として選定した施設等へ、訪問・説明や郵送し、当法人の活動をPRする。

事業の活動実績	4月・・・広報作業作戦会議
	①配布方法について検討。郵送時に、軽量で壊れないようにするための、梱包資材や梱包方法を検討した。資材の調達先やレターパックなどの活用を決めた。 ②広報日程の確認。スタッフの稼働可能状況と保育士さんの助言から、計画時とは変更し、夏休みに広報に必要な物品をそろえ、秋から広報訪問に入ることとなった。
5月・・・広報先の検討会議	市内を中心に、療育・教育・養育施設や、福祉の現場への配布を検討した。訪問にあたり資料として、市の暮らし便利帳を使用した。
7月・・・広報に向けて DVD、リーフレット、手紙の作成	DVD 200枚を梱包用の資材に封入、リーフレットの折込準備、手紙の文書の確認。
8・9月・・・広報梱包材の購入。(不足分の書いたし。文書の印刷。)	
10月・・・広報先への連絡と訪問	市内の保育園5か所。保育ルームを訪問。詳しくお話をさせていただけたところは3か所。その他は、電話対応ではお話しできていたが、玄関先での対応となった。次年度予算の関係や、現在関わりあるイベント先との関係から、即来年から取り入れてもらうのは難しいなどの説明があった。
11月・・・訪問についての再検討	関心を示している相手先を中心に資料を配布した。
12月～3月・・・郵送作業 住所書き 132か所	暮らしの便利帳 P135～136、公立・私立保育園67箇所。私立幼稚園31箇所。児童館10箇所。高尾山学園。P139多摩地区の都立盲・聾・特別支援学校6箇所。P140～141障害のある方の施設 17箇所。)
2月・・・配布訪問(市内のすぎな愛育園ほか障害児者施設5か所。市外の施設6箇所。)	
3月・・・最終郵送作業(梱包と郵送。イベントのチラシも同封)	



特定非営利活動法人

Pulemyu
ぶれみゅう

事業の成果・効果	<p>郵送先・訪問先・・・通算 132施設へ投函。18施設へ配布。 現在のところ、郵送先や訪問先からの問い合わせを期待している状況である。 訪問時の様子と相手方の反応から考え、福祉・教育・養育現場は 大変忙しく、また予算上も大変な状況であり、訪問でのお願いは難しい状況とかがえた。 そのため、心証を考慮して 郵送中心としての作業に切り替えた</p> <p>梱包作業は、安価に抑えるため、梱包材を自分たちで 裁断しての作業になり、安くなった一方で、時間と手間がかかった。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1できた ② 概ねできた 3あまりできなかった 4ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1できた ② 概ねできた 3あまりできなかった 4ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2多少の変更があった 3大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>当法人の活動を継続していくために、引き続き広報活動を行っていく。また、今回の広報活動を行った効果が、しばらく時間が経ってから表れることも考えられるため、広報先の動向を注視し、イベントのご案内など、PRに努める。ただし、当法人の財政面はかなり逼迫しているため、郵送等は難しく、広報面での有効な活用手段を 探している。</p>
---------	--

平成24年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	DV被害者や女性であるが故に問題を抱える女性の支援		
団体名	いっぼの会		
事業費	80,264円	補助金額	71,000円

事業の目的・内容	目的	DV被害や女性であるが故に起こる問題を抱えて相談できないでいる女性が多い。家庭内の問題、個人的なプライバシーに係わる問題だけに、親、兄弟、友人に話しても、理解してもらえず一人で悩んで苦しんでいる状況がある。安心して話せる場があることを伝え支援していく。
	内容	相談場所、解決方法も見えないで、力を失い途方に暮れている女性に、安心して話せる場を用意して、自分の問題や苦しみを話したり、ほかの参加者の話を聞いたりしながら、一歩前進できる力をとりもどせるよう会を進め、相談にのったり情報を伝えたりする。

事業の活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・ H24年4月6日、20日；5月4日、18日；6月1日、15日；7月6日、20日；8月3日、17日；9月7日、21日；10月5日、19日；11月2日、16日；12月7日、21日；平成25年1月4日、18日；2月1日、15日；3月1日、15日の計24回、毎月2回「いっぼの会」を開催した。 ・ 24年度は、延べ人数48人が参加し、昨年度より13人増加した。会を立ち上げて4年半経過するが、年々増加している。 ・ 「いっぼの会」のお知らせのチラシやカード等を、今まで届けられなかった公的な施設に設置でき情報を広めることができた。また、協働推進課が行った八王子市南口総合事務所でのパネル展示などで、当団体の情報を広げることができた。 ・ 昨年に引き続き一般の新聞のミニコミ紙に掲載していただいたり、病院の窓口にチラシを置いていただけた。
---------	---

夫・パートナーとの関係やDVに悩む方
女性どうして語りましょう

いっぼの会

日時：毎月第1、第3金曜日
時間：午後1時30分～3時30分
参加費：300円
TEL：090-6338-4391
090-7408-1372
"お電話してください"

いっぼの会

平成24年度市民企画事業補助金交付団体
夫・パートナーとの関係やDVに悩む方、女性どうして語りましょう。一歩前進できる力をとりもどせるよう会を進め、相談にのったり情報を伝えたりする。

こんなことは初めてです。
・ 日ごろの悩みを吐き出す。
・ 大勢で一緒に悩む。
・ 安全なことを知ることが出来る。

苦しいこと、つらいこと、悲しいこと、悩んでいること、辛いこと、不安なこと、心配なこと、いっぼの会では、いっぼの会がサポートします。いっぼの会では、いっぼの会がサポートします。いっぼの会では、いっぼの会がサポートします。

毎月第1、第3金曜日
午後1時30分～3時30分
場所 グリエイトホール2F
費用 1回300円

お問い合わせ
小口 (090-6338-4391)
小川 (090-7408-1372) まで

事業の成果・効果	<ul style="list-style-type: none"> 「いっばの会」の情報が広がって、1年目、2年目、3年目、4年目と参加いただく方が年々増加してきた。 会場が安定的に、明るくて広い同じ部屋を使用できるため、参加者に安心して開放的な気持ちで参加していただけた。 DVに対する相談の場が広がってきているためと思われるが、ひどい身体的な暴力を受けている人の相談は少なくなっている。一方精神的な暴力、たとえば夫に無視されたり、会話が成り立たなかったり、浮気に悩まされたり、経済的な不安を抱えた人が多い。DVを受けていても閉鎖的な環境の中で「自分が悪いからかも」と自分を責めている人もいる。 最近特に多いのは娘や息子との関係に悩む母親である。子育て時代、父親は仕事と、役割分担で子育てをしてきた母親たちがおとなになった娘や息子に今頭を抱えている。若い人の就職難、結婚の高年齢化などの関係もあると思われる。また、どこへ相談に行ったらよいか悩んでいる人も多い。 1, 2年前に参加した人が「いっばの会」に参加した後気持ちが整理でき、今は自分の生活が明るくなったと報告に来てくれたり、問題は解決したがこれからも参加をしても良いかと参加したり、空いた時間30分でも参加しようとしてくれる人などいて、経験を語ったり、その後の不安を話したり、新しい参加者ともよい雰囲気でも語り合いの場になってきている。
----------	--

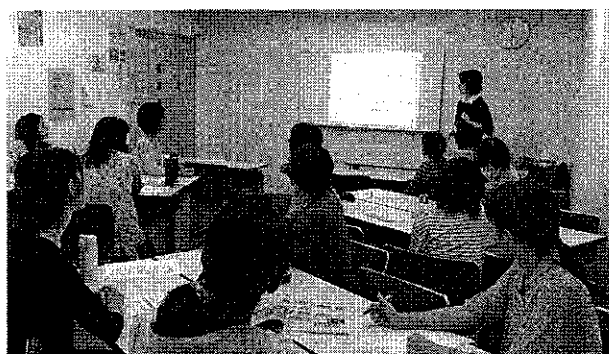
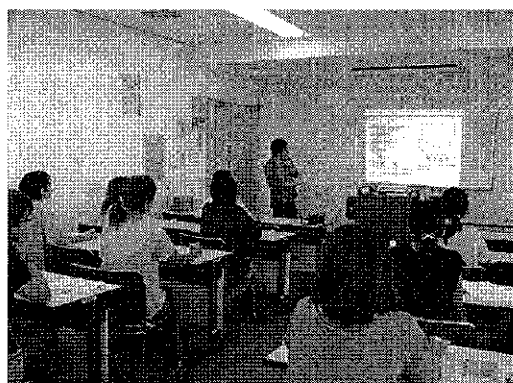
自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった ----- 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ ② 多少の変更があった 3 大幅に変更している ----- 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 参加者が増えて、参加費が予定よりも増加した。
	その他、評価すべき点等	会の存在が問題を抱える方にとって、大きな安心の場になっているのを感じる。また、市民企画事業補助金の対象として公的な支援を受けている会だと安心感を持ってもらえ、事業を進めやすかった。わたしたちもいろいろな話を聞きながら被害者と向き合うことで、教えられ学ぶことが多く一歩ずつ前進できたと思う。またこうした活動が見えることでDVや女性の問題を抱える人への社会の理解が広がってくると思う。継続していることで社会の変化を受けて女性が抱える新たな課題も見えてくる。
今後の事業展開	<ul style="list-style-type: none"> 年末年始以外決まった時間に必ず開催した。開催予定日には必ず開いて継続をしていきたい。 プライバシー保護に留意しながら、安心して話ができる場を継続したい。 情報が届きにくい人に伝える工夫をしていきたい。 会費が上げられない運営の中で、資金面での工夫をしていきたい。 	

平成24年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	子育てママのための学び場<一歩踏み出して未来の私につながろう>		
団体名	グランジュッテ		
事業費	148,709円	補助金額	100,000円

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>未就園児の0歳～3歳の子どもを育児している母親は子どもと向き合う時間が多く、大人同士で話をする機会が少なくなる。いつの間にか視野が狭くなり、思考が停止し、愚痴っぽくなったりすることもある。また育児ストレスから子どもやパートナーとの関係が悪くなってしまうことも多い。このような時期に創造性を発揮するためのさまざまな仕掛けを施した講座を行うことで、子どもやパートナーとの関係も良好にしたいと考えた。現在、市内で行われている子育て中の母親が対象の講座は子育てに関する講座が多く、母親のケアを対象にした講座はあまり行われていないと考えるため、この事業を企画した。</p>
	<p>事業の内容</p> <p>母親のための自己啓発講座の実施。講座の対象:1歳～3歳までの子どもを育てている母親。 受講者数:15名実施時期、時間:9月～12月 午前中。5回を託児付講座とする。 場所・・・クリエイトホール内の会議室及び和室 講座回数:全6回の連続講座</p>

事業の活動実績	<p>第一回 9月19日 参加者 15名</p> <p>①子育ては親育ち子育て～家族みんながイキイキするために〔託児付〕講師:新谷和代(帝京大学)</p>
	<p>第二回 9月28日 参加者 12名</p> <p>②子育て世代のマネープラン〔託児付〕講師:太矢香苗(かな・える FP 相談室 代表)</p>
	<p>第三回 10月12日 参加者 14名</p> <p>③ストレスゼロの収納術〔託児付〕講師:川崎朱実(マスターライフオーガナイザー)</p>
	<p>第四回 10月26日 参加者 7名</p> <p>④世代間交流を楽しもう 講師:八王子お手玉の会 協力</p>
	<p>第五回 11月9日 参加者 13名</p> <p>⑤フラワーアレンジメント講座〔託児付〕沢藤美花(LOTUS 代表)</p>
	<p>第六回 12月3日 参加者 4名</p> <p>⑥3年後のなりたいわたしに向かって〔託児付〕滝川 友紀子(開発教育を考える会)</p>



事業の成果・効果	<p>全6回の講座を通して、受講生が個々に充実した時間を過ごすことができた。</p> <p>参加した受講生からは講座全体を通して「講座を受講したことによって自分の生活を振り返ることができた」「生き生きと意欲的に生活できるようになった」「子どもやパートナーとの関係について考えることができるようになった」等の感想を聞くことができた。</p> <p>②講座では「あまり聞くことができないマネープランについて知ることができて良かった」「講師が子育てをしながら資格を取得した話を聞いて勉強になった」</p> <p>③講座では「自分の脳のタイプの収納方法を知り、とても良かった。」「学んだことを実践したい」</p> <p>⑤講座では「子育てで慌ただしい毎日だがじっくりと考えたり作品を集中して作ったりする時間の大切さに気づいた」「とてもリラックスできた」という感想を聞くことができた。</p> <p>⑥講座では「子育て中は毎日の生活に精一杯で『未来』や『将来』などあまり考えることができないが、講座を受講しワークショップを行うことによって『少し先の未来』について考えることができた」という感想を聞くことができた。</p> <p>講座中に発言する場では、受講生は感想や自分自身の振り返りを皆の前で語る事ができた。普段はあまりない良い体験ができたようである。</p> <p>また、託児付講座は母子分離のきっかけともなったようで、回を終えるたびに、母子ともに変化があった。母親になってからの学びはなかなか一般化されていないのが現状である。今後も託児付き講座を開催する必要があると考える。</p> <p>参加した子育て中の母親が日ごろの忙しい生活の中から少しの時間、「自分を大切に過ごし今後を考える時間」を作ることができるようになったと考える。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	<input checked="" type="checkbox"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	<input checked="" type="checkbox"/> 1 できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由 (3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	<input checked="" type="checkbox"/> 1 ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	本来の目的に合う活動が出来た。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自己診断です。

今後の事業展開	<p>平成25年度の予定</p> <p>①八王子市男女共同参画センター主催「チャレンジ企画」支援事業にて講座を実施予定 (8月、9月に3回連続講座)</p> <p>②麒麟福祉財団「麒麟・子育て公募事業」の助成を受け、「子育てママのための学び場」講座を実施予定 (9月～11月に5回連続講座)</p> <p>今後も当団体の活動内容についてアピールを図り、子育て中の母親が参加しやすい自己啓発講座の企画・運営を行いたい。</p>
---------	--

平成24年度市民企画事業補助金 交付事業成果報告書

事業名	第5回八王子さくら祭り		
団体名	特定非営利活動法人 八王子是(おこし)市民の会		
事業費	1,108,371円	補助金額	534,000円

事業の目的・内容	目的
	内容

市制100年に近づく八王子の街を貴重な伝統・歴史・文化・自然を生かし魅力ある街づくり・物づくり・人づくりに繋げるべき、さくら祭りを通じより多くの市民に訴える

第5回八王子是さくら祭りの実施により下記のことを市民に訴える

- ・水とみどりを慈しみ、環境にやさしい人と調和のとれたまじりの推進を図る活動
- ・八王子の特性を生かした活動事業(名品、名店)や文化などの発掘発信により、街の活性化に繋げるまちおこし活動

事業の活動実績	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第五回是さくら祭り H24年4月7日(土)8日(日)10時~16時 市庁舎前浅川河川敷鶴巻橋下で開催 2. 演目 八王子高等学校を中心に第三中学校、第四中学校及び拓殖大学等の吹奏楽メガロス、八王子各スポーツクラブの小学校ダンシングチーム 小中学生に依る大正琴が好評 今年初めてベリーダンスに人気が集まる 3. 拓大、工学院大の学生が企画より参加し、期間中のお手伝いいただく お子様向き催物、ぬいぐるみや楽しい遊び場、ゲーム等が大変好評でした 司会の只野らっきょ氏が大変好評であった 残念ながら代表がオーバーワークで足に傷を負い75日入院してしまい、提出書類に遅れが発生 4. ポスターを作ったが貼れず、PR活動が出来ず、マスコミ関係者に大変迷惑を掛けました 今年のさくら祭りは中止との問い合わせも多かった 5. 審査委員からの要望事項である特定団体との連携は都合により難しい
---------	--



事業の成果・効果	<p>○第5回八王子是(おこし)さくら祭り(4月7日8日2日間、八王子市庁舎前河川敷広場) 八王子高校を中心に第三中学校、第四中学校、拓殖大学等の吹奏楽・メガロススポーツクラブ、八王子スポーツクラブの小中学生のダンスチーム・大正琴と若い出演者中心で大変好評でした。 PR活動に時間が取れなかったため、問い合わせが多かった。 第5回を迎え、毎年期待され、年々楽しみにしている方々が増えている。 陶器のお買い得セール、ぬいぐるみ、お子様の遊び場は良かった。 只野らっきよの司会も良かった</p> <p>○八王子の中心市街地を流れる浅川のクリーン化美形化し、皆に愛される浅川づくりを行政に提案する活動中です。 街おこしに結び付けるべくさくら祭りを通じ市民の皆様へ訴え続けています</p>
----------	--

自己評価	事業は申請どおり実施できた	1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	1 <input checked="" type="radio"/> できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 主な理由(3、4と答えた場合のみ)
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	1 ほとんど同じ 2 <input checked="" type="radio"/> 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由(2、3と答えた場合のみ) 事業費が予算時に比べ小さくなっているが、対象外経費の部分での支出があった
	その他、評価すべき点等	度重なる勉強会(毎晩)で全員一致協力して活動に熱が入った。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>25年度第6回八王子さくらみどりの祭典を4月27日(土)28日(日)29日(月)みどりの日に開催を予定しています。 他の開催団体との連携協力は是非望ましい 共同広告、会議循環バス等考えたら良い 但し、審査委員会からの要望事項である特定団体との連携は都合により難しい</p>
---------	---